

令和 7 年度事業報告

令和 7 年 7 月 1 日から令和 8 年 6 月 30 日まで

1 令和 7 年度活動経過報告

令和 7 年度の活動では、公益法人土木学会 海洋開発委員会主催で本年 7 月に熊本城ホールにて開催された第 51 回海洋開発シンポジウム（2026）の開催テーマの一つである「有明海・八代海の海域環境の現状と今後に向けて」と題した企画討論会において本 NPO の滝川理事長をオーガナイザーに、また、川岸理事を講演者として後援いたしました。

受託事業として、いであ株式会社より「令和 7 年度沿岸環境・生態系等のデジタルツインの開発と実践 資料収集整理業務（熊本市内販売魚種調査・撮影等作業）」を受注いたしました。

また、本 NPO 活動へのご支援として、久光製薬株式会社が 2007 年より社会貢献活動に取り組む NPO 法人に対するマッチングギフト制度として創立された「ほっとハート倶楽部」からの支援先として選定を受け寄付金を頂きました。

その他、八代海再生に向けた様々な研究成果や活動等を取りまとめ本 NPO より刊行しております「八代海再生へのシナリオ」の配布についても引き続き活動を継続しております。

1 事業の成果

1-1 特定非営利活動に係る事業

1-1-1 海域、陸域の環境及び国土保全に関わる調査・研究

(1) (公益法人) 土木学会主催 第 51 回海洋開発シンポジウム（2026）

「有明海・八代海の海域環境の現状と今後に向けて」と題した企画討論会の後援

【開催概要】

令和 8 年 7 月 1 日（水）15 時 30 分～18 時

・参加者数 約 100 名

★シンポジウムテーマ：「有明海・八代海の海域環境の現状と今後に向けて」

【講演内容】

主旨説明 熊本大学名誉教授、NPO 法人みらい有明・不知火理事長 滝川 清氏

テーマ 1 「熊本港湾における話題提供、出水（集中豪雨）による海域への影響と調査の必要性」

国土交通省 九州地方整備局 熊本港湾・空港整備事務所長 佐藤 鉄志氏

テーマ 2 「有明海・八代海等の環境全般、評価委員会報告の取りまとめ状況」

環境省 水・大気環境局 海洋環境課 海域環境管理室長 西川 絢子氏

テーマ 3 「魚類から見た有明海・八代海、トップダウンから見る生態系構造」

長崎大学 総合生産科学域（水産学系）教授 山口 敦子氏

テーマ 4 「これまでの再生への取り組み事例紹介（大学研究、行政調査、NPO 活動等）」

いであ株式会社 国土環境研究所 環境計画部 上席研究員 川岸 寛氏

★主旨：本企画討論会では、有明・八代海の海域環境におけるこれまでの成果と現状を捉え直し、今後の再生に向けた課題と対応策を議論する。特に巨大化・頻発化する豪雨や陸域からの淡水流入（質・量の変化）が干潟環境へ与える影響や、温暖化への将来対応を熟考し、災害対応と環境調和を前提として取り組みの必要性を提示する場として開催いたしました。

本シンポジウムはCPDの認定プログラムです。

詳細は土木学会海洋開発委員会のホームページをご覧ください。
(<https://committees.jsce.or.jp/ocean/sympo>)



公益社団法人 **土木学会**
JSCE 海洋開発委員会

第51回海洋開発シンポジウム(2026)

企画討論会

場所：熊本城ホール3階 大会議室A1

『有明・八代海の海域環境の 現状と今後に向けて』

2026年7月1日(水) 15:30 ~ 18:00

【主旨】

本討論会では、有明・八代海の海域環境におけるこれまでの成果と現状を捉え直し、今後の再生に向けた課題と対応策を議論する。特に、巨大化・頻発化する豪雨や陸域からの淡水流入（質・量の変化）が干潟環境へ与える影響や、温暖化への将来対応を熟考し、災害対応と環境調和を前提とした取り組みの必要性を提示する予定です。

オーガナイザー： 滝川 清 氏（熊本大学名誉教授）

1. 開会、主旨説明： 15:30-15:40
2. ご講演
 - 15:40-16:00
「熊本港湾における話題提供、出水(集中豪雨)による海域への影響と調査の必要性」
国土交通省 九州地方整備局 熊本港湾・空港整備事務所長 佐藤 鉄志 氏
 - 16:05-16:25
「有明海・八代海等の環境全般、評価委員会報告でのとりまとめの状況」
環境省 水・大気環境局 海洋環境課 海域環境管理室長 西川 絢子 氏
 - 16:30-16:50
「魚類から見た有明海・八代海、トップダウンから見る生態系構造」
長崎大学 総合生産科学域(水産学系)教授 山口 敦子 氏
 - 16:55-17:15
「これまでの再生への取り組み事例紹介(大学研究、行政調査、NPO活動等)」
いであ株式会社 国土環境研究所 環境計画部 上席研究員 川岸 寛 氏
3. パネルディスカッション： 17:20-18:00
4. 閉会： 18:00

後援：  **NPO法人 未来有明・不知火**
地域住民・NPO・行政の協働による地域づくり

 **熊本県沿岸域再生官民連携フォーラム**

企画討論会 式次第



写真1. 滝川 理事長 主旨説明

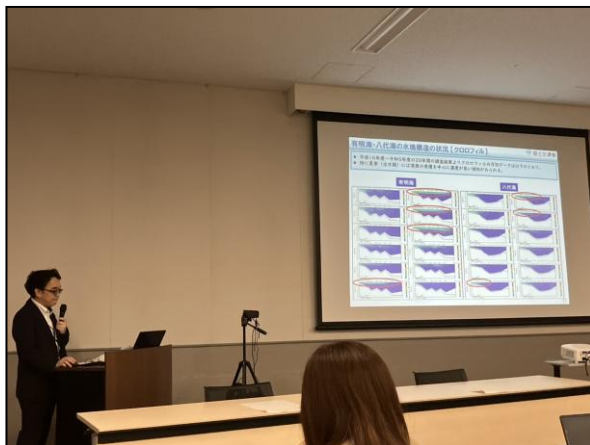


写真2. 国土交通省 熊本港湾・空港整備事務所長
佐藤 鉄志氏



写真3. 環境省 海域環境管理室長
西川 絢子氏



写真4. 長崎大学総合生産科学域(水産学系)教授
山口 敦子氏



写真5. いであ株式会社、当NPO理事
川岸 寛氏



写真6.企画討論会会場の様子



写真7.企画討論会会場の様子

(2)「八代海再生へのシナリオ」書籍の配布

八代海についてのこれまでの研究成果や最新の科学技術的な知見を網羅し“八代海の真の再生”に資することを目標に編纂・製本した書籍「八代海再生へのシナリオ」の提供（印刷・製本・郵送費のみを徴取）として、4冊のお問い合わせがあり書籍を販売させていただきました。

(3)環境保全・防災分野の新たなモデルとして、NPOと官との連携モニタリングシステムの構築・運営に関する研究（環境再生機構：地球環境基金等への応募）

有明海・八代海に関わる主たる関係行政機関の一つである熊本県環境立県推進課との事業打合せ（有明海・八代海におけるこれまでの活動取り組みや今後に進め方等に関わる）や意見交換を行いました。また、本NPOの長年にわたる研究活動や様々な取り組み等、社会貢献活動が高く評価され久光製薬株式会社に創立されている「ほっとハート倶楽部」から活動支援先として選定を受け寄付金を頂きました。

1-1-2 海の交流事業と広報活動に関わる企画・運営

(1) シンポジウムの企画・運営

（公益法人）土木学会主催 第51回海洋開発シンポジウム(2026)の開催テーマの一つとして、ご講演いただいた登壇者をお招きし、「有明海・八代海の海域環境の現状と今後に向けて」と題したパネルディスカッションを後援しております。



写真8. パネルディスカッションの様子

1-1-3 環境の再生・維持及び防災に関わる地域社会支援活動

(1) 熊本県沿岸域再生官民連携フォーラムの事務局活動

熊本県沿岸域再生官民連携フォーラムの中核をなす企画運営委員会や各種PT委員、運営事務局として参画しておりますが令和7年においては、主体的に取り組む活動テーマが示されず事務局活動については参加しておりません。なお、令和8年以降においても継続的に取り組むべき活動テーマに沿って取り組みを進めて参ります。

(2) 受託事業「令和7年度沿岸環境・生態系のデジタルツインの開発と実践」

有明海・八代海沿岸環境・生態系のデジタルツインの開発と実践における「統合モデルと見える化技術の開発」に資することを目的として、熊本市内において販売、流通している魚類調査を受託事業として、いであ株式会社様より委託を受け実施しました。

調査の概要：熊本市内の大小スーパー20数店舗、田崎市場等、鮮魚市場を廻り販売されている魚類の内、有明海・八代海で捕れる熊本産魚類の魚種調査及び写真撮影等を行いました。

1-2 その他の事業 【ホームページの運用】

情報発信の基盤として当NPOのホームページについて、イベントごとにコンテンツを追加するなど、活動の経過や最新の情報を順次掲載するとともに、特定非営利活動法人推進法で公告の義務が定められた「貸借対照表の公告」や「事業報告書」等の掲示を行っております。

当NPOの活動への関心や興味ある方々に「有明海・八代海沿岸海域の再生と持続的な地域再生」についての最新の知見や現状の課題、その解決に向けた様々な情報発信を行っております。

2 事業の実施に関する事項

(1)特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者範囲 及び人数	支払額 (千円) 端数切上
海域、陸域の 環境及び国 土保全に関 わる調査・研 究	(公益) 土木 学会主催 第 51 回海洋開 発シンポジウ ム 2026	R8.7.1 (水)	熊本城ホー ル大会議室	2 名	有明・八代海沿岸域 の研究者、関係行政 機関、技術者 参加者：約 100 名	0 千円
	「八代海再生 へのシナリ オ」配布	R7.7.1 ～ R8.6.30	NPO 事務室	作 業 延 人 数 1 名	有明・八代海沿岸域 の研究者、地域住民 配布数：4 冊	7 千円
	環境保全・防 災分野の新た なモデルとし て、NPOと 官との連携モ ニタリングシ ステムの構 築・運営に関 する研究	R7.9.19 ～ R8.2.3	NPO 事務室	作 業 延 人 数 2 名	久光製薬株式会社 「ほっとハート倶 楽部」より活動支援 先の選定を受け寄 付金を授与 ※選定のためのヒ アリング及び申請 書作成並びに寄付 金授与式典に参列	10 千円
海の交流事 業と広報活 動に関わる 企画・運営	第 51 回海洋 開発シンポジ ウム 2026 に おいて、パネ ルディスカッ ションを後援	R8.7.1	熊本城ホー ル大会議室	作 業 延 人 数 2 名	パネルディスカッ ションテーマ「有明 海・八代海の海域環 境の現状と今後に 向けて」	0 千円
環境の再 生・維持及び 防災に関わ る地域社会 支援活動	受託事業「令 和 7 年度沿岸 域環境・生態 系のデジタル ツインの開発 と実践」	R8.3.5 ～ R8.3.23	NPO 事務室 熊本市内の 主要な市場	業務補助 1 式	熊本市内において 販売、流通している 魚類調査の業務補 助を実施	128 千円
その他 ホームページの更新等		R7.7.1 R8.6.30	NPO 事務室	作 業 延 人 数 5 名		0 千円

3 第25期役員改選

当法人は、定款第16条（注3）によって役員の任期は2年と定められています。令和7年度は任期が満了する時期にあたりますので、令和8年度の役員名簿は、別紙のとおりです。決議を受け重任していただく案としております。

（注3）

第16条 役員の任期は、2年とする。但し、再任は妨げない。

- 2 前項の規定にかかわらず、後任の役員が選任されていない場合には、任期の末日後最初の総会が集結するまでその任期を伸長する。
- 3 補欠のため、又は増員によって就任した役員の任期は、それぞれの前任者又は現任者の任期の残存期間とする。
- 4 役員は、辞任又は任期満了後においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

第 25 期の役員名簿

令和 8 年 7 月 1 日～令和 10 年 6 月 30 日まで

特定非営利活動法人 みらい有明・不知火

役名 (役職名)	氏 名	住所又は居所	就任期間
理事 (理事長)	滝川 清	熊本市東区下江津 2 丁目 1 番 48 号	令和 8 年 7 月 1 日 ～ 令和 10 年 6 月 30 日
理事 (副理事長)	加藤 治	佐賀市本庄町大字本庄 923 番地 5	令和 8 年 7 月 1 日 ～ 令和 10 年 6 月 30 日
理事	中田 慶一郎	熊本市東区佐土原 1 丁目 8 番 45-811	令和 8 年 7 月 1 日 ～ 令和 10 年 6 月 30 日
理事	川岸 寛	川崎市高津区梶ヶ谷 2 丁目 12 番 1 梶が谷パークホームズ 413	令和 8 年 7 月 1 日 ～ 令和 10 年 6 月 30 日
理事	高木 克己	熊本県上益城郡益城町大字小池2172番地1	令和 8 年 7 月 1 日 ～ 令和 10 年 6 月 30 日
理事	西本 英明	熊本市西区島崎 6 丁目 7 番 7 号	令和 8 年 7 月 1 日 ～ 令和 10 年 6 月 30 日
理事	後藤 幹夫	熊本県上益城郡益城町大字古閑 40 番地 8	令和 8 年 7 月 1 日 ～ 令和 10 年 6 月 30 日
監事	山本 祐司	熊本市西区池田 4 丁目 16 番 16 号	令和 8 年 7 月 1 日 ～ 令和 10 年 6 月 30 日
監事	田代 裕信	熊本市東区下江津 5 丁目 5 番 31 号	令和 8 年 7 月 1 日 ～ 令和 10 年 6 月 30 日